

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	小学校耐震補強事業				コード	01	10	02	01	04	
2	担当部課	教育部				学校教育課						
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	1	安心して暮らせる福祉のまちづくり		大項目	3	未来を創造する子ども達				
		中項目	2	学校教育		小項目	2	義務教育				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	小学校の児童、教諭及び施設利用者											
2	働きかける相手(対象)	旧建築基準で建設された校舎及び体育館											
3	どのような状態にしたいのか(意図)	建物の耐震性を確保し、地震防災対策の促進を図ります。											
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	小学校耐震補強事業										
		工事期間	平成 10 年度～平成 22 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度				
		全体工事概要	H10音小北, H14高小南, H15春小体育館, H16諸小北, H17春小南, H18諸小南, H20東小東西, H22諸小体育館, 音小体育館, 高小体育館										
		評価年度の実施内容	諸小体育館、音小体育館、高小体育館の耐震診断、実施設計を行いました。 面積 880㎡ (諸小体育館) 880㎡ (音小体育館) 943㎡ (高小体育館)										
		予定全体事業量 [A]	24,077.00 ㎡										
		評価年度までの事業量 [Σ a]	21,374.00 ㎡										
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	88.8 %									%	%
		予定全体直接事業費 [B]	887,992,988 円									円	円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	823,784,950 円									円	円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	92.8 %									%	%
		評価年度の事業量 [a]	0.00 ㎡										
評価年度の直接事業費 [b]	8,182,650 円									円	円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円									円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額	81,659,550 円				決算額	8,182,650 円					

6 コストの推移	項 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費① (②+③+④)	81,659,550	8,182,650	93,904,000
	一般財源②	95,550	8,182,650	4,813,000
	起 債 ③	42,400,000	0	42,800,000
	そ の 他 ④	39,164,000	0	46,291,000
	概算人件費⑤	1,712,358	1,722,711	
	総合計 (① + ⑤)	83,371,908	9,905,361	
	町費投入額(②+③+⑤)	44,207,908	9,905,361	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	小学校耐震補強事業		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	東海地震及び東南海地震において、マグニチュード7.0程度の規模の地震が発生し甚大な被害が予想されるので、地震防災上緊急に整備をする必要があります。		
3 建設事業評価コメント	東海地震強化地域に指定され、学校施設が避難所の指定を受けているので、校舎・体育館の地震補強対策が必要です。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	学校施設の耐震化の早期完了を目指します。
------------------	----------------------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	兵庫小学校建設事業				コード	01	10	02	01	99
2	担当部課	教育部				学校教育課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	1	安心して暮らせる福祉のまちづくり	大項目	3	未来を創造する子ども達				
		中項目	2	学校教育	小項目	2	義務教育				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	新設小学校学区の児童									
2	働きかける相手(対象)	SPC (PFI契約会社)									
3	どのような状態にしたいのか(意図)	小学校校舎、体育館、プール、児童館他を建設します。									
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	新設小学校施設整備事業								
		工事期間	平成 16 年度～平成 33 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度		
		全体工事概要	SPCが小学校校舎、体育館、プール、児童館等を建設しました。								
		評価年度の実施内容	校舎9,271㎡、屋内運動場1,143㎡、屋外水泳プール、児童館463㎡の購入								
		予定全体事業量 [A]	10,877.00 ㎡								
		評価年度までの事業量 [Σ a]	10,877.00 ㎡								
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	100 %								
		予定全体直接事業費 [B]	2,425,887,286 円								
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	1,541,708,448 円								
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	63.6 %								
評価年度の事業量 [a]	0.00 ㎡										
評価年度の直接事業費 [b]	73,247,563 円										
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円										
5	直接事業費計	前年度決算額	73,187,697 円				決算額	73,247,563 円			

6 コストの 推移	項 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費① (②+③+④)	73,187,697	73,247,563	73,308,815
	一般財源②	73,187,697	73,247,563	73,308,815
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	0	0	0
	概算人件費⑤	180,970	173,324	
	総合計 (① + ⑤)	73,368,667	73,420,887	
	町費投入額(②+③+⑤)	73,368,667	73,420,887	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	新設小学校施設整備事業		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、 改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、 改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、 改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	中学校耐震補強事業				コード	01	10	03	01	04
2	担当部課	教育部				学校教育課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	1	安心して暮らせる福祉のまちづくり	大項目	3	未来を創造する子ども達				
		中項目	2	学校教育	小項目	2	義務教育				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	中学校の生徒、教諭及び施設利用者									
2	働きかける相手(対象)	旧建築基準で建設された校舎及び体育館									
3	どのような状態にしたいのか(意図)	建物の耐震性を確保し、地震防災対策の促進を図ります。									
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	中学校耐震補強事業								
		工事期間	平成 13 年度～平成 21 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度		
		全体工事概要	H13東郷中学校南校舎、H19東郷中学校北校舎、H21東郷中学校体育館								
		評価年度の実施内容	東郷中学校屋内運動場の耐震改修工事を行いました。 面積 2,652㎡								
		予定全体事業量 [A]	9,920.00 ㎡								
		評価年度までの事業量 [Σ a]	9,920.00 ㎡								
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	100 %						%		%
		予定全体直接事業費 [B]	393,472,800 円						円		円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	393,472,800 円						円		円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	100 %						%		%
		評価年度の事業量 [a]	2,652.00 ㎡								
評価年度の直接事業費 [b]	86,027,550 円						円		円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	32,439 円						円		円		
5	直接事業費計	前年度決算額	4,200,000 円	決算額	86,027,550 円						

6 コストの推移	項 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費① (②+③+④)	4,200,000	86,027,550	0
	一般財源②	4,200,000	9,637,550	0
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	0	76,390,000	0
	概算人件費⑤	1,521,112	2,748,622	
	総合計 (① + ⑤)	5,721,112	88,776,172	
	町費投入額(②+③+⑤)	5,721,112	12,386,172	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	中学校耐震補強事業		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	東海地震強化地域に指定されて学校施設が避難所の指定を受けているので、校舎・体育館の地震補強対策を完了しました。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	
------------------	--

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	都市計画道路整備事業				コード	01	08	02	02	02
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気あふれるまちづくり	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	2	都市計画道路				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人											
2	働きかける相手(対象)	都市計画道路											
3	どのような状態にしたいのか(意図)	幹線道路の整備を図り、車両交通が円滑になります。											
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	東郷・三好線										
		工事期間	平成 16 年度～平成 23 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度				
		全体工事概要	工事延長 L = 250m 用地取得 A = 2,840㎡、 公社買戻し										
		評価年度の実施内容	用地取得(土地開発公社) 495.70㎡ (累計2013.94㎡)										
		予定全体事業量 [A]	250.00m										
		評価年度までの事業量 [Σ a]	130.00m										
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	52%									%	%
		予定全体直接事業費 [B]	214,989,335 円									円	円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	99,455,185 円									円	円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	46.3%									%	%
評価年度の事業量 [a]	0.00m												
評価年度の直接事業費 [b]	22,104,334 円									円	円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円									円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額				26,248,990 円			決算額			22,104,334 円	

6 コストの 推移	項 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費① (②+③+④)	26,248,990	22,104,334	18,317,000
	一般財源②	26,248,990	22,104,334	18,317,000
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	0	0	0
	概算人件費⑤	2,473,722	3,176,209	
	総合計 (① + ⑤)	28,722,712	25,280,543	
	町費投入額(②+③+⑤)	28,722,712	25,280,543	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	東郷・三好線		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、 改善可能事項等	みよし市区画整理事業の動向次第では工事実施時期の調整が必要です。		
3 建設事業評価コメント	予算面については、関係部局と十分に協議し、円滑な予算執行をします。また、みよしの事業を把握し手戻り等のないように努めます。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、 改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、 改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	みよし市との調整を図り早期の事業着手をします。
------------------	-------------------------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	道路新設改良事業(単独)				コード	01	08	02	02	01
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	3	生活道路				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人										
2	働きかける相手(対象)	道路										
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行が円滑になるようにします。										
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	牛廻間地区			白土・涼松地区						
		工事期間	平成 13 年度～平成 24 年度			平成 21 年度～平成 27 年度			平成 年度～平成 年度			
		全体工事概要	工事延長 L = 9 8 1 m 用地取得 A = 1, 6 1 4 m ² 物件補償			工事延長 L = 2 5 m 用地取得 A = 1 4 4. 9 4 m ² 公社買戻し						
		評価年度の実施内容										
		予定全体事業量 [A]	981.00 m			25.00 m						
		評価年度までの事業量 [Σ a]	185.00 m			0.00 m						
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	18.9 %			0 %			%			
		予定全体直接事業費 [B]	162,990,733 円			16,000,000 円			円			
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	75,425,591 円			0 円			円			
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	46.3 %			0 %			%			
		評価年度の事業量 [a]	0.00 m			0.00 m						
評価年度の直接事業費 [b]	0 円			0 円			円					
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円			0 円			円					
5	直接事業費計	前年度決算額			2,841,244 円			決算額			0 円	

6 コストの推移	項 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費① (②+③+④)	2,841,244	0	1,471,000
	一般財源②	2,841,244	0	1,471,000
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	0	0	0
	概算人件費⑤	3,092,153	2,507,534	
	総合計 (① + ⑤)	5,933,397	2,507,534	
	町費投入額(②+③+⑤)	5,933,397	2,507,534	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	牛廻間地区	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	本格的な事業展開が図れるよう、計画的な事業執行を行います。また、用地難航者に対して事業の理解が得られるよう、関係部局と連携し進めます。	
3 建設事業評価コメント	執行は慎重かつ迅速に、また事業全体を意識し計画的に執行します。	

工事・路線名 (2)	白土・涼松地区	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	補助事業が終了したため、今後は単独事業として計画的に事業執行を行います。	
3 建設事業評価コメント	予算の執行については、計画的に執行します。	

工事・路線名 (3)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	
------------------	--

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	道路新設改良事業(補助)				コード	01	08	02	02	01
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	3	生活道路				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人											
2	働きかける相手(対象)	道路											
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行が円滑になるようにします。											
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	白土涼松地区										
		工事期間	平成 17 年度～平成 21 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度				
		全体工事概要	工事延長 L = 1, 272.0m										
		評価年度の実施内容	工事施工 * L = 544m										
		予定全体事業量 [A]	1,272.00m										
		評価年度までの事業量 [Σ a]	1,272.00m										
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	100 %									%	%
		予定全体直接事業費 [B]	488,379,309 円									円	円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	488,379,309 円									円	円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	100 %									%	%
評価年度の事業量 [a]	544.00m												
評価年度の直接事業費 [b]	61,715,850 円									円	円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	113,448 円									円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額	178,132,724 円				決算額	61,715,850 円					

6 コストの推移	項 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費① (②+③+④)	178,132,724	61,715,850	0
	一般財源②	38,766,656	21,042,619	0
	起 債 ③	89,000,000	35,705,000	0
	そ の 他 ④	50,366,068	4,968,231	0
	概算人件費⑤	19,436,387	6,686,757	
	総合計 (① + ⑤)	197,569,111	68,402,607	
	町費投入額(②+③+⑤)	147,203,043	63,434,376	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	白土涼松地区	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	補助事業の完了に伴い今後は、単独事業として引き続き事業を実施する必要があります。	
3 建設事業評価コメント	白土涼松地区には、まだ未拡幅、未施工道路があり今後は交付金を活用し、事業実施をする必要があります。	

工事・路線名 (2)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

工事・路線名 (3)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	
------------------	--

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	公園緑地築造事業				コード	01	08	04	02	03
2	担当部課	経済建設部				都市計画課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気あふれるまちづくり	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	4	公園整備				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民及び公園利用者				
2	働きかける相手(対象)	公園施設等				
3	どのような状態にしたいのか(意図)	公園を設置、整備することにより、町民の生活環境向上の場の提供や災害時の一次避難地としてのスペースが確保されるようにします。				
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	三ツ池公園 (0.20ha)		白土第1公園 (0.10ha)	
		工事期間	平成 20年度～平成 21年度		平成 19年度～平成 21年度	
		全体工事概要	H20: ワークショップ開催 基本計画策定 実施設計作成 H21: 公園築造		H19: 用地購入(土公社) ワークショップ・基本計画策定 H20: 実施設計業務 H21: 公園築造 用地取得費償還	
		評価年度の実施内容	築造工事を行いました。 ア 芝生広場、土広場、園路 イ プラコ、滑り台、鉄棒、 砂場、水飲み 各1基 ウ 照明灯2基 エ ベンチ9基、野外卓2組 オ 四阿2基、花壇4箇所 等		(1) 築造工事を行いました。 ア 芝生広場、園路、植栽 イ 時計塔1基、照明灯2基 ウ ベンチ8基、縁台2基 エ パーゴラ基、四阿1基等 (2) 用地取得に係る償還金を 支払い、返済を完了しまし た。	
		予定全体事業量 [A]	4.00事業		5.00事業	
		評価年度までの事業量 [Σ a]	4.00事業		5.00事業	
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	100%		100%	
		予定全体直接事業費 [B]	36,024,450 円		93,688,321 円	
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	36,024,450 円		93,688,321 円	
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	100%		100%	
評価年度の事業量 [a]	1.00事業		2.00事業			
評価年度の直接事業費 [b]	33,640,950 円		90,791,697 円			
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	33,640,950 円		45,395,849 円			
5	直接事業費計	前年度決算額	4,123,353 円	決算額	124,432,647 円	

6 コストの推移	項 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費① (②+③+④)	4,123,353	124,432,647	0
	一般財源②	1,589,421	26,905,928	0
	起 債 ③	1,600,000	87,195,000	0
	そ の 他 ④	933,932	10,331,719	0
	概算人件費⑤	3,075,812	2,565,498	
	総合計 (① + ⑤)	7,199,165	126,998,145	
町費投入額(②+③+⑤)	6,265,233	116,666,426		

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	三ツ池公園 (0.20ha)	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	世代間において公園の利用形態が異なるため、住み分けや利用についてのルールを地域にあわせ地域で整備していくことが必要と思われます。	
3 建設事業評価コメント	ワークショップ形式により策定した計画に基づき、地域住民の意見や要望等を考慮・反映された公園を整備することができました。	

工事・路線名 (2)	白土第1公園 (0.10ha)	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	世代間において公園の利用形態が異なるため、住み分けや利用についてのルールを地域にあわせ地域で整備していくことが必要と思われます。	
3 建設事業評価コメント	ワークショップ形式により策定した計画に基づき、地域住民の意見や要望等を考慮・反映された公園を整備することができました。	

工事・路線名 (3)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	公共下水道建設事業				コード	09	02	02	02	01
2	担当部課	経済建設部				下水道課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気あふれるまちづくり	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	7	下水道				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	下水道認可区域内の地権者及び住民										
2	働きかける相手(対象)	下水道認可区域内の受益地										
3	どのような状態にしたいのか(意図)	公共用水域の水質が改善されることにより、町民生活の環境衛生が向上されるようにします。										
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	建設事業費									
		工事期間	平成 1 年度～平成 25 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度			
		全体工事概要	事業認可取得区域・市街化区域516haの公共下水道の整備									
		評価年度の実施内容	整備面積 11.4ha 整備延長 3.6km 接続件数 448件									
		予定全体事業量 [A]	516.00ha									
		評価年度までの事業量 [Σ a]	464.78ha									
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	90.1 %									
		予定全体直接事業費 [B]	17,968,467,000 円									
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	14,242,050,331 円									
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	79.3 %									
		評価年度の事業量 [a]	11.40ha									
評価年度の直接事業費 [b]	357,513,772 円											
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	31,360,857 円											
5	直接事業費計	前年度決算額	401,556,316 円				決算額	357,513,772 円				

6 コストの推移	項 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	直接事業費① (②+③+④)	401,556,316	357,513,772	385,755,000
	一般財源②	84,442,201	84,614,839	86,527,000
	起 債 ③	168,100,000	175,800,000	190,200,000
	そ の 他 ④	149,014,115	97,098,933	109,028,000
	概 算 人 件 費 ⑤	34,313,936	27,085,234	
	総 合 計 (① + ⑤)	435,870,252	384,599,006	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	286,856,137	287,500,073	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	建設事業費	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	白土地区の面整備を重点的に実施しており計画通り事業が進捗しています。幅員が狭い道路が増えてきた為、補償費が増加し、ha当たりの整備単価が上昇しています。	
3 建設事業評価コメント	公共用水域の水質改善が急務とされており、DID地区の下水道整備を早急に行う必要があり、下水道事業の工法等を検討しコスト縮減意識を持って、白土地区の一部の供用開始を平成22年度までに完了するよう整備しました。	

工事・路線名 (2)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

工事・路線名 (3)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	補助事業費の縮減に伴い下水道事業費の確保が困難なため、関係機関と協議しつつ、工法及び施工方法等を検討しコスト縮減を目指します。
------------------	---